

トーク
イベント



貴重な資源「日本の森」を守るため 新しいことに挑む林業経営！

～断固、森を守る「血」でつなぎ「智」で活かす現場からの提言～

国土の約3分の2を、森林という貴重な資源に恵まれた日本だが、それを支える林業は不振にあえいでいる。苗木が生長するのは50年後という長い生育サイクル、国内需要や国際情勢で大きく乱高下する販売価格、危険を伴う山林管理などが敬遠され、山はますます荒廃し、国土の保全という観点から見ても、森林は危機に直面している。著者田島氏は、大分県日田地方で鎌倉時代から続く林業を営む現場の第一人者。今回のトークイベントでは、田島氏と交流のある、北九州市立大学の城戸教授を聞き手にお迎えし、現在の日本が抱える林業経営の問題点と、田島氏が挑む新たな林業経営について話をうかがいます。

日本の将来を共に考え、「森を守る仲間」の第一歩を踏み出してみませんか？



当日書籍販売有り

日時:2019年8月27日(火)

18:30～20:00(開場 18:15)

会場:BIZCOLI 交流ラウンジ

(福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館3F)

講師:田島 信太郎 氏(田島山業株式会社 代表取締役)

聞き手:城戸 宏史 氏(北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授)

定員:40名

参加費:賛助・BIZCOLI 会員:無料、一般:1,000円



講師紹介



田島 信太郎 氏 （田島山業株式会社 代表取締役）

福岡市生まれ。慶応義塾大法学部卒。英国・米国での約 3 年間の企業研修及び留学を経て西武百貨店（当時）に就職し、約 2 年間勤めた。

大分県日田市中津江村で代々続く林業経営者一族で、1985 年、28 歳の時に父親の急死を受けて後を継ぐ形で林業経営の道へ。1988 年、田島山業株式会社を設立、社長に就任して現在に至る。

林業の刷新と改革のために講演等で全国を飛び回っており、現在、林業復活・地域創生を推進する国民会議メンバー、一般社団法人九州経済連合会・農林水産委員会委員、林業部会委員、一般社団法人日本林業経営者協会理事、おおいた早生樹研究会会長、大分県林業経営者協会理事、森を守り地域を活性化する協議会理事も務める。

聞き手紹介

城戸 宏史 氏 （北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授）

九州大学文学部を卒業後、九州経済調査協会で研究員として、16 年間地域振興に係る調査研究やプロジェクトに従事。半導体産業や自動車産業、環境産業などの産業振興策に係る調査研究や市町村のマスタープランづくりなどを経験。九州経済調査協会調査研究部次長等を経て、2005 年に北九州市立大学経済学部助教授に就任し、その後 2010 年に北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授に就任。



下記の項目を記入のうえ FAX (092-721-4908) または、ホームページ (<http://www.bizcoli.jp>) からお申込みください。（定員 40 名になり次第、締め切らせていただきます）

会社名・団体名	所属・役職
住所	電話番号
ふりがな お名前	E-mail

お問い合わせ先

（公財）九州経済調査協会事業開発部・BIZCOLI 担当：牟田・平田
福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 3F TEL：092-721-4909 FAX：092-721-4908